



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 芳工連 賀詞交歓会開催

1月14日(水) ホテル東日本宇都宮において、来賓6名、参加企業34社68名、事務局3名 総勢77名の参加により賀詞交歓会を開催しました。

中山克夫総務企画部会長が司会進行を務め、万年博之芳工連副会長が、「芳工連は4部会を中心とした事業運営で、日頃から皆様の御支援をいただき安全・安心な工業団地を構築し会員相互の連携も年々高まっている。本日の賀詞交歓会が皆様にとって有意義となるよう祈念します」と開会の言葉を述べ賀詞交歓会が始まりました。



■ 主催者 小川審也会長の挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。年が明けて2週間が経過しましたが、先週はフランスで風刺週刊紙社への襲撃テロ事件が発生し大変な事が起きたというのが新年の印象です。追悼には370万人もの人が集まり、表現の自由への脅威を背景に、結束を訴える声パリから世界各地に広がっていると報道されています。

一方、アメリカではニューヨーク株式市場の株価が年末に初めて1万8,000ドルを突破したと報道されていますが、欧州の不透明感を背景にドルに資金が集まり易くなっていると認識しています。アメリカ経済では原油価格の下落が経済の70%を占める個人消費を後押ししていると報道されており、個人消費の堅調な伸びが企業収益の改善や拡大予想と相まって株式相場の下支えになっているとも言われています。

そのような中で日本を振り返って見ますと、去年は夏以降 急速に円安・株高が進みました。年末の衆院選で圧勝した現政権は、さらなる経済政策を進めると宣言をしています。ご存知のように「アベノミクス」の一本目の矢はデフレ脱却をするための大幅な金融緩和であり、円安・株高傾向は今後も続くと認識しています。



今年の日本経済は、円安やアメリカの景気回復を背景に企業収益の改善が期待されていますが、国内のモノづくりの現場は生産拠点を海外にシフトさせてきた企業も多く、円安だからと言って単純に輸出は伸びない状況になっていることや、日本のGDPの7割はサービス産業が占めていると言われていいますので、円安・株高がどこまで効果があるのかが大変気になります。

しかしながら、円安は海外からの旅行者にとっては

メリットが大きいわけで、ご存知のように2013年に初めて海外からの旅行者や出張者が1,000万人を突破しましたが、特に興味深いのは、海外からの旅行者が日本で感じたことをインターネットで発信しており、さらに多くの人々の共感を呼んでいることです。

2020年夏季五輪・パラリンピックの東京開催に向けての記事が新聞等に掲載されていましたが、5年後のオリンピック開催は夢が持てる明るい話題だと思います。オリンピックの開催が準備期間をはじめとして、これまで日本に関心が無かった外国人旅行者の訪日意欲の喚起を促し、サービス産業に大きな波及効果をもたらすと予測されています。

「安全、清潔、親切」ということが、観光や出張で日本に来た外国人が持つ日本のイメージです。我々には当たり前ですが、安全・清潔で交通網が整備され、規則正しくダイヤが運行されている。また、どこに行っても親切な人たちがいる。「おもてなし」に代表される質の高いサービスや、思いやりの心を発揮すれば、日本は世界からもっと愛されると思います。

そのために我々は現状に安住せず、常に良いモノを目指し、日々研究や努力を続けていくことが重要です。資源がない日本の競争力の源泉は、何と言っても「人」であり、日本人の勤勉さや努力、丁寧なモノづくりは、我われの一番の財産です。我われはこの強みを活かし「皆で頑張っていこう！」という気持ちを失ってはいけないと思っています。

芳工連は、今年も会員企業のニーズに沿って「より安全・安心な工業団地」の実現に向けて、充実した活動を展開していきたいと思っています。また、各種事業を通して地域とコミュニケーション良く連携を深めて参りたいと考えていますので、昨年同様、芳賀町長はじめ町当局の皆様には工業団地立地企業へのご支援とご協力を重ねてお願いしたいと思います。また、会員企業の皆様には今年も多大なるご協力をお願い申し上げます。

結びに、芳賀町のご発展、会員企業様、本日お集まり皆様のご健康とご繁栄を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



来賓祝辞

芳賀町長豊田征夫様から、「芳工連の皆様には意見交換会等を通じて町へのご要望を頂戴しているので順次対応していきたい。

県が所管するものは速やかに対応できていないものもあるが、芳工連と町と一緒に県へ要望して参りたい。県知事にもしっかりとやっていただけるよう私も意見を申し上げた」とご挨拶がありました。



町議会議長小林隆志様から、「地方経済はまだまだ厳しい状況が続いており、今年は政権運営の真価が問われる年になると思います。是非、目に見える著しい経済効果をもたらされることを期待したい。少子高齢化、人口減少社会が進行する中で将来の芳賀町がどうあるべきか、議員も真剣に考えていかなければならない。芳工連の皆様には広範な御識見からご教授いただければ幸いです」とのご挨拶を頂戴しました。



■ 賀詞交歓会

乾杯の発声は、芳賀町商工会長佐藤政二様にお願いし、懇親会に入りました。転勤で初めて参加する方や本社から駆けつけた役員さんも多数おいでになりましたので、参加された皆さまは各テーブルを回り挨拶や名刺交換を積極的にしていました。楽しい語らいの中で意義のある懇親の機会となったようです。

今年の賀詞交歓会でも、恒例となった会員企業スピーチを10社の皆様から頂戴しました。巧みな話術で新年の抱負、会社PR、個人の話題などユニークなお話が盛りだくさんで、爆笑あり、納得し頷く話題ありと大変に好評でした。

閉会の言葉を田口裕幸芳工連理事様が担当され、一本メでお開きとなりました。



■ 交通防犯部会

交通安全「のぼり旗」撤去

1月6日、年末・年始の交通安全県民総ぐるみ運動展開中に工業団地内に掲げていた交通安全横断幕・のぼり旗の撤去を西東部会長はじめ12社13名の出席により実施しました。

芳工連会員企業様から、年末年始の交通事故に関する情報は無く、交通防犯部会員の地道な活動が役立っているものと自負しています。新年早々の作業に参加いただきました部会員の皆様ありがとうございました。



■ 安全衛生部会

普通救命講習会開催

1月28日 午前9時から大会議室にて本年度第4回目の普通救命講習会を開催しました。講習会には19社28名の方が参加されました。

いつ、どこで、ケガや病気に襲われるか予測できませんので、家庭や職場でできる「応急手当」を学ぶことは重要です。心筋梗塞や脳卒中などで心臓や呼吸が止まった人の命を救うため、そばにいる人が救命措置を行えるよう、応急手当の方法を受講しました。



講習会では、急車を呼んでから到着するまでの応急手当として心肺蘇生、AED等の迅速な初期

対応を救急救命士の指導で学びました。このような措置を適切に行い、専門家による二次救命処置につなげることが重要となります。

毎回、講師を務めていただく消防芳賀分署の救急救命士の皆様には、親切丁寧な御指導をいただき感謝を申し上げます。

■ 芳賀町賀詞交歓会開催

芳賀町内の農商工業関係者、自治会、町議会議員、農業委員などの役職者 116 人が出席して新春賀詞交歓会が 1 月 7 日開催されました。

主催者あいさつで豊田征夫町長は、昨年を振り返ると町制 60 周年の記念事業を実施し、先人のお蔭で発展してきた芳賀町の実績を将来に引き継ぐ決意を皆様と共有することができた。11 月には赤羽有紀子さんの功績を記念する赤羽有紀子ロードを設置して記念マラソンを実施した。

町の将来に向けた施策として、人口減少に歯止めをかける少子化対策事業、若者の定住促進を重点に若者の結婚、妊娠、出産に対する支援、子育て支援を実施する。また、住宅地の整備についても積極的に行う。働く場の確保や第 2 工業団地の整備も推進していきたい。と挨拶がありました。

町議会小林隆志議長、JA はが野黒崎宣芳組合長、芳賀町商工会佐藤政二会長の来賓祝辞に続き、乾杯の発声を芳工連の宮崎侑志郎副会長が行いました。様々な立場から出席された皆様ですが、情報交換の語らいで相互に懇親を深めることができました。



■ 緊急経済対策の御案内

国は、アベノミクスの効果を地方へ波及させるため、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」3兆5千億円を12月27日閣議決定しました。

平成26年度補正予算の各事業補助金公募要領は2月上旬に決定する見込みで、2月中旬から補助金応募申請の受付が開始される予定です。

国の経済対策補助事業等を活用し、企業において研究開発や設備投資等を進める場合、経済産業省のホームページや中小企業庁関連の支援ポータルサイト「ミラサポ」で詳しい情報をご覧ください。

ミラサポ

検索

また、栃木県産業労働観光部工業振興課ものづくり企業支援室 TEL028-623-3192 で相談窓口を開設していますので御利用ください。

芳工連日誌

【1月の実績】

- 5日 仕事はじめ
- 6日 交通安全のぼり旗・横断幕撤去
- 7日 芳賀町賀詞交歓会
- 13日 団管連幹事会
- 14日 芳工連賀詞交歓会
- 28日 普通救命講習会

【2月の予定】

- 16日 環境整備・安全衛生部会合同視察研修会
- 18日 栃木県知事との意見交換会
- 25日 総務企画部会主催ボウリング大会
- 25日 資源ごみ回収